

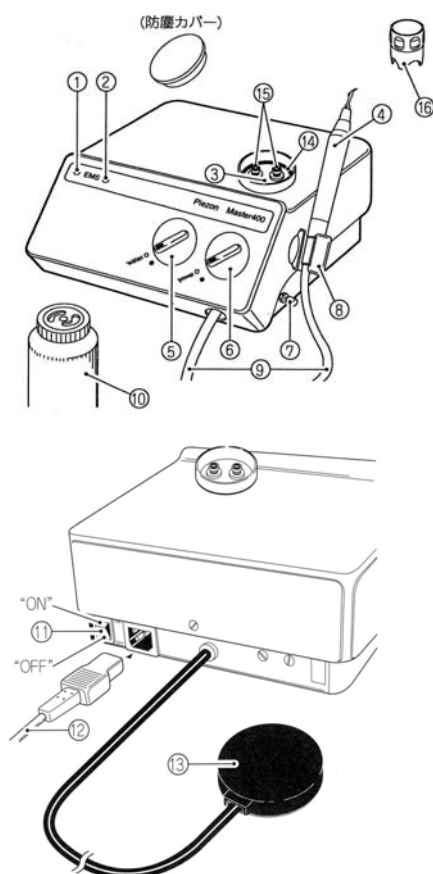
機械器具 6 2 歯科用切削器
管理医療機器 歯科用多目的超音波治療器 70719000
特定保守管理医療機器 **ピエゾン マスター 400**

【禁忌・禁止】

本器（超音波スケーラー）は心臓ペースメーカーを使用の患者の近くでは使用しないこと。また、ペースメーカー使用の術者は本器を使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



2. 各部の名称

- ①パイロットランプ（緑）
- ②注水停止ランプ（橙）
- ③ボトルマウント（防塵カバー付）
- ④ピエゾンハンドピースU
- ⑤ウォーターコントローラー
- ⑥パワーコントローラー
- ⑦セレクトター
- ⑧ホルダー
- ⑨HP ケーブル
- ⑩ボトル
- ⑪電源スイッチ
- ⑫電源コード
- ⑬フットスイッチ
- ⑭0 リング
- ⑮ボトルコネクター用 O リング
- ⑯ピエゾン CT レンチ

3. 定格

- 1) 電撃保護の形式及び程度 クラス I、B 形機器

- 2) 定格電源 AC100V 50/60Hz
- 3) 電源入力 40VA

4. 寸法及び質量

- 1) 寸法 約 W248×D244×H115 (mm)
- 2) 質量 約 3.6kg

5. チップの種類と用途

チップ種	用 途
A、B、C	スケーリング（歯石、歯垢の除去）
P、PS	イリゲーション（清掃、洗浄）
PL1、PL2、PL3、PL4、PL5	ペリオ（ルートプレーニング）
D、H	ドライワーク（充填、補綴物の撤去）
エンドチャック 90、 エンドチャック 120	エンド（根管拡大、洗浄）

6. 原理

ハンドピースの内部に高周波電力で動作する超音波振動子を備え、振動子の先端に歯面の形態に適したチップを取り付ける。管状の振動子からチップに浄水を供給しながらチップを超音波振動させ、歯面に付着した歯垢などを洗浄除去する。

【使用目的又は効果】

- 1) 歯石及び歯垢の除去
- 2) アマルガム、ガッタパーチャ等の歯科用乾式充填材料の充填
- 3) 装着済み補綴物の除去
- 4) 根管拡大及び洗浄
- 5) 歯牙表面の研削

***【使用方法等】**

詳細については、取扱説明書等の「設置と接続のしかた」「操作のしかた」を必ず参照してください。

1. 設置と接続のしかた

- 1) 電源コード⑫を本体のインレットに接続します。
- 2) ピエゾンハンドピース④を HP ケーブル⑨に接続します。

2. 操作のしかた

1) ボトルのセット

- ①ボトルの装着や交換の際は、ハンドピースをホルダーにセットし、ウォーターコントローラー⑤を○印（注水停止位置）にします。
- ②ボトルに洗浄液を入れ、キャップをします。
- ③ボトルをボトルマウント③に装着します。

2) ピエゾンチップの着脱

ハンドピース先端に処置に適した形態のチップを取り付け、ピエゾン CT レンチで最後まで締め付けた後、更に 1/4 回転回します。

3) フットスイッチ及びセレクトター

- ①電源スイッチ⑪を ON にします。
- ②ハンドピースをホルダーから外します。
- ③フットスイッチ⑬の踏み込みは 2 段式になっています。フットスイッチの踏み込み位置とセレクトター⑦のセット位置の組合わせによりハンドピースは次のように動作します。

フットスイッチ	セレクトターのセット位置	
	IRRIGATION SCALING	ENDO
踏まない時	停止	停止
踏み込み 1 段階目	注水のみ	注水+超音波振動
踏み込み 2 段階目	注水+超音波振動	超音波振動のみ 注水停止ランプ（橙） ②が点灯

取扱説明書等を必ずご参照ください。

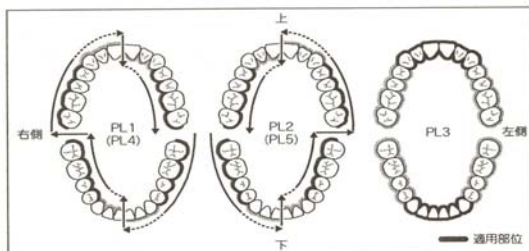
- 4) 水量調節
フットスイッチを踏みながらウォーターコントローラー⑤で行ない、時計方向に回すと水量が増えます。
- 5) パワー調節
フットスイッチを踏みながらパワーコントローラー⑥で行ない、時計方向に回すとチップの振動が強くなります。
- 6) スケーリングシステム
①セレクトターを IRRIGATION/SCALING 側にセットします。
②チップは A を使用します。
③水量は、チップを振動させた時、細かい霧になる程度に合えます。
④フットスイッチ
1 段階目で水量を調節した後、2 段階目で使います。
- 7) 取扱説明書等のスケーリングシステムの術式の記載を参考に操作してください。
- 8) イリゲーションシステム（歯周ポケットの洗浄）
①セレクトターを IRRIGATION/SCALING 側にセットします。
②チップは P または PS を使用します。
③水量は最大で使います。
④フットスイッチは 2 段階で使います。
1 段階：ポケットへの注水
2 段階：注水+超音波振動
- 9) 取扱説明書等のイリゲーションシステムの術式の記載を参考に操作してください。
- 10) ペリオシステム（ルートプレーニング）
①セレクトターを IRRIGATION/SCALING 側にセットします。
②チップは PL1、PL2、PL3、PL4、PL5 から処置の内容に合ったものを使用する。

「ペリオプロライン」は5種類のチップから構成されています。処置する内容に合った正しいチップをご使用ください。

名称	PL1	PL2	PL3	PL4	PL5
形状	上 側面	上 側面	上 側面	上 側面	上 側面
特徴	左側湾曲 ラウンドエンド	右側湾曲 ラウンドエンド	直線 ラウンドエンド	左側湾曲 ボールエンド	右側湾曲 ボールエンド
適用部位	臼歯部用	臼歯部用	前歯部用	臼歯部の斜分岐部 と 歯根窩凹部	臼歯部の斜分岐部 と 歯根窩凹部

歯列への具体的なチップの適用部位は下図を参考にしてください。

ピエゾンチップ PL1、2 または PL4、5 を用いて全歯列に対して処置を行う場合、下図の順番に従うと効率よく行うことができチップの交換が少なくて済みます。



- ③水量（洗浄液量）は、「中」（20ml/分程度）で使います。
- ④パワーは、「中」で使います。
- ⑤チップを歯周ポケットの予定していた深さに挿入します。
- ⑥まず、フットスイッチを一段階踏んでポケット内に洗浄液を満たし、次に 2 段階目でチップを根面に沿ってゆっくりと動かします。
- 11) 術式はペリオプロラインの説明書等を参照してください。
- 12) エンドシステム（根管拡大、洗浄）
①エンドシステムの説明書等を参照してください。
②セレクトターを ENDO 側にセットします。
③ファイル：松風 U ファイルを使用します。
④フットスイッチは 2 段階で使います。
1 段階：注水+超音波振動
2 段階：超音波振動のみ
⑤エンドチャック 90 またはエンドチャック 120 をハンドピースにねじ込み、エンドレンチで締め付けます。
- * ⑥エンドチャックのキャップを緩めてファイルの先端からファイルの先端までの長さが 23~27mm（指定装着長さ）となるように装着してください。指先で軽く締めてから長さを調節し、エンドレンチでキャップを締め付けます。

ファイル装着後、キャップ先端からファイル先端までの長さを測り、指定装着長さとなっているか確認してください。
⑦念のためにファイルが抜けないことを確認します。

- 13) 根管の穿孔及び洗浄
①パワー（超音波）は最小にし、水量は「中」に合わせます。
②ハンドピースをホルダーから外し、フットスイッチを 1 段階踏んで水量調節をします。
③X 線写真や根管長測定器などで根管長を測定し、作業長にストッパー位置を決めます。
④根尖から 1mm のところまで穿孔するようにします。
⑤ファイル 15 までの根管拡大は手用ファイルで行い、ファイル 15 の進入路をつくります。
- 14) 術式はエンドシステムの説明書等を参照してください。
- 15) ハンドピースの洗浄
生理食塩水などの洗浄液をご使用になった後は、ボトル一杯分の水を用意し、最大流量で 30 秒以上洗い流しながらハンドピース先端のネジ部も洗浄します。
- 16) ドライワーク
①装着された補綴物（金属クラウン、金属ブリッジ等）の分離撤去
・セレクトターは ENDO 側にして、非注水で、パワーは最大側で使います。
②ガッターパーチャ等の根管充填
・セレクトターは ENDO 側にし、非注水、パワーは、中間位で使います。

3. 消毒について
1) ハンドピース、ピエゾン CT レンチの消毒
135°C/2 気圧以下でオートクレーブを行います。ハンドピースは頭部を取り外すことができるので、清掃や消毒が簡単にできます。
- 2) チップ
チップはオートクレーブ、ケミクレーブ、薬液消毒・滅菌ができます。但し、薬液処理後は十分に水洗を行い乾燥しておきます。
- 3) ボトル
120°C以下で 15 分のオートクレーブを行います。
4. チップ交換の時期について
1) A、P、PS、PL3 は添付の「チップウエアガイド」にチップを重ねて赤線よりも短くなったときを目安に新品にかえます。他のチップは、これを参考にして消耗の度合いを測ってください。
- 2) A、B、P、PS、PL1、PL2 は先端が丸みを失い、尖ってきたときや断面が丸みを失ったとき。
- 3) 無理な力により新品時の形が変形したとき。
- 4) PL4、PL5 は先端の球形形状が丸みを失ったとき。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) 引火性のものを近くに置かないこと。
- 2) 交流 100V 以外では使用しないこと。
- 3) 水をかけないこと。
- 4) セレクトターをエンド側にセットしてスケーリングやイリゲーションを行わないこと。
- 5) スケーリング中は必ず注水下で使用する。
- 6) チップ A、B、C、P、PS では先端を歯面に対し垂直に当てないこと。
- 7) スケーリング中はセラミック製の補綴物（撤去する必要のない物）に対して、チップが絶対に触れないようにすること。
- 8) チップが直接歯肉や皮膚・粘膜に触れないこと。
- 9) 仮止めたチップをホルダーから引き抜く際は注意すること。
- 10) パワーコントローラーは患者の知覚状況や歯石の取れ具合などにより適宜調節すること。
- 11) ボトルの中に入れる液は 35°C以下で使用する。
- 12) 洗浄液として、消毒効果のある水溶性の洗浄液または含嗽剤などの薬品を使用することも可能であるが、患者に対する影響は術者自身の判断で選択して使用すること。
- 13) ボトルを本体にセットする時はセットした後、水漏れがないことを確認してから使用すること。
- 14) 術後のハンドピース、チップ、及びピエゾン CT レンチは消毒を行うこと。

- 15) ファイルは、指定装着長さ以外で使用すると共振により破折しやすくなるので、必ず指定装着長さを厳守すること。
- 16) ハンドピースを接続させる前にエアで HP ケーブルのコネクタを乾燥させること。
- 17) ハンドピースは消毒後充分乾燥させること。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 1) 使用後は電源スイッチを切ること。また、長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜くこと。
- 2) 術者はラテックスグローブや保護具を使用すること。
- 3) チップを再使用する際には、清掃液、消毒剤を用いて付着物を除去した後、オートクレーブ、ケミクレーブ、乾熱又は EOG による滅菌若しくは薬剤による消毒をすること。なお、塩素系消毒剤は、使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・本器は、直射日光、高湿度を避けて室温で保管すること。
- ・チップ及びハンドピースは、水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避け、外圧及び汚染を受けないように保管すること。
- ・本器は、歯科医療従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

詳細については、取扱説明書等の「保守・点検」、「異常を感じたら」を必ず参照すること。

- 1) ヒューズについて
ヒューズを交換する際は、下記の 2 箇所のヒューズを確認してから交換すること。
 - ① 本体後部の電源コード用インレット上部のヒューズ
＜2.5A ヒューズ／寸法φ5×20 (mm) 1 本＞
 - ② 本体底部のヒューズ
＜1A ヒューズ／寸法φ5×20 (mm) 2 本＞
- 2) 本体の清掃は中性洗剤（研磨材を含まない物）を用い、柔らかな布で拭くこと。
- 3) 使用中、機器に異常を感じた時は使用を中止し、点検・修理を依頼すること。

〔保守・点検上の注意〕

- 1) ヒューズ交換以外の分解・修理や改造は絶対に行わないこと。
- 2) ヒューズの点検・交換は電源プラグをコンセントから抜いて行うこと。
- 3) ヒューズは必ず指定容量のものを使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者	株式会社 松風
住所	〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号	075-561-1112
製造業者	E.M.S.ELECTRO MEDICAL SYSTEMS S.A. イーエムエス エレクトロ メディカル システムズ
国名	スイス